

報道関係者各位

2021年9月22日 配信 No.2021-20
立命館アジア太平洋大学 (APU)

立命館アジア太平洋大学・株式会社大分銀行 共催 2021年度公開講座「おおいた遺産を活用した地域づくり」開講

立命館アジア太平洋大学 (APU・大分県別府市 学長：出口治明) は、株式会社大分銀行 (大分県大分市、取締役頭取：後藤富一郎) と共催で、10月6日 (水) より2021年度公開講座「おおいた遺産を活用した地域づくり」を開講します。

本講座は大分合同新聞社と連携し、大分を「知る」「生かす」「発信する」をテーマとした連携授業として2017年度より開始しました。2021年度は新たに株式会社大分銀行の協力・支援を得て寄附講座として実施いたします。本講座では、大分合同新聞創刊120周年記念事業による公募で選ばれた有形・無形の地域資源「おおいた遺産」をどのように地域観光に活用していくかについて、講義とフィールドワークを通じて学びを深めます。なお、本講座はAPUアジア太平洋学部の「観光学特殊講義」として開講される授業の一部を、公開講座として一般に開くものです。幅広く県民の参加を募り、地域理解を通じて地域振興に寄与することを目指しています。

講座概要

■講師

コーディネーター：久保 隆行 立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部教授
担当教員：神足 博美、檜本 譲司 立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部非常勤講師

■募集定員

一般 260名、APU学生 40名

■内容・スケジュール

<地域1：国東半島> 10月6日 (水)

「『おおいた遺産』とは何か」講師：神足博美氏 APU非常勤講師
「『おおいた遺産』を生み出した歴史と風土」講師：檜本譲司氏 APU非常勤講師
「国東・六郷満山の歴史と民俗」講師：金田信子氏 元国東町歴史民俗資料館館長

<地域2：豊後大野> 10月20日 (水)

「豊後大野の歴史・平家物語と緒方三郎惟栄」講師：檜本譲司氏 APU非常勤講師
「大分の磨崖仏・石造物文化」講師：山路康弘氏 大分県教育庁文化課
「豊後大野ジオパークの誕生」講師：豊田徹士氏 豊後大野市職員

<地域3：中津・耶馬溪> 11月3日 (水)

「日本遺産とはー中津・耶馬溪の歴史と文化」講師：高崎章子氏 中津市歴史博物館長
「地域経済とツーリズム」講師：矢野雄士氏 大分銀行地域創造部

<グループワーク発表会> 11月17日 (水) 13:30-19:00

これまで学修した内容を踏まえて、「おおいた遺産」を観光資源として活用した地域づくりのアイデアを発表
会場：ホルトホール・小ホール (大分市)

■開催形式

公開講座 (10/6, 10/20, 11/3) の一般参加者は、原則オンラインでの参加のみとなります。
※ 発表会 (11/17) の形式・参加方法は調整中です

主催：立命館アジア太平洋大学、株式会社大分銀行
協力：大分合同新聞社、一般財団法人大分学研究会



講座開始に先立ち、立命館アジア太平洋大学と株式会社大分銀行は2021年9月22日（水）に「株式会社大分銀行と立命館アジア太平洋大学との寄附講座開設に関する協定書」を締結しました。

（写真左）株式会社大分銀行 専務取締役 武島 正幸
（写真右）APU 副学長 李 燕



■株式会社大分銀行 専務取締役 武島 正幸（タケシマ マサユキ）コメント

この講座の特徴として、観光・地域づくりのあり方を「座学」と「現地学習」で学ぶ授業形式となっており、今年は県内3地域をターゲットに学習が行われます。昨年来の新型コロナウイルス感染拡大を受けて、世界中の観光業界は大きな打撃を受けています。日本国内においてもコロナ禍での「観光のあり方」が変化しつつあります。このような状況下で開設する本講座に対する期待は、大きく2つあります。ひとつは「現地学習」による、地域観光関係者への好影響が見込まれること。学問として学生の知識習得のみならず、地元の観光関係者にも良い刺激をもたらすと考えます。もうひとつは、インバウンド戦略を構築していくうえで、国際感覚を持った学生の意見は非常に有用なものとなること。ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、この状況下でどう訴求し準備を進めていくかが鍵となると考えます。本講座が「観光で地域に経済価値を上げる」ような有用なものとなることを願っています。

■APU副学長 李 燕（リエン）コメント

この講座は、大分県下の有形・無形の地域資源である「おおいた遺産」の歴史・文化的価値を再発見する試みです。本学は、確かな学術的理解・スキルだけでなく、それを応用するキャンパス外での実践にも取り組んでいます。本講座はまさにそうした実践的な学びを実現するもので、本学が今後の教学展開を見据えて非常に力を入れているものです。

大分銀行様の御協力により今年度も開講できることを、大変うれしく思います。

大分銀行様をはじめ、自治体やDMO（観光地域づくり法人）、観光業に関連する事業者の方々や地域の皆さまと一緒に貴重な地域資源である「おおいた遺産」を学び、その先に持続可能な地域のかたちを考察していきます。